

第9回

下水道管路の包括的民間委託検討部会

説明資料

令和5年1月17日



横浜下水道150

横浜から始まり、150年の時を刻む下水道

—横浜近代下水道導入150年/下水処理開始60年記念—

審議項目

1 中大口径管の維持管理方針と

包括的民間委託のレビューについて

2 次期包括的民間委託のスキーム案について

審議項目1

中大口径管の維持管理方針と 包括的民間委託のレビューについて

中大口径管の維持管理方針

○前回検討部会での振り返りのまとめ

- ・市が期待していた内容を十分に理解した体制・提案内容
- ・包括的民間委託を活用した中大口径管の維持管理は
適切に実施できていると考えている

○振り返りを踏まえた次期調査の方針

中大口径管の状態把握を主眼とするため

引き続き包括委託を活用したい

○次期包括委託に向けて

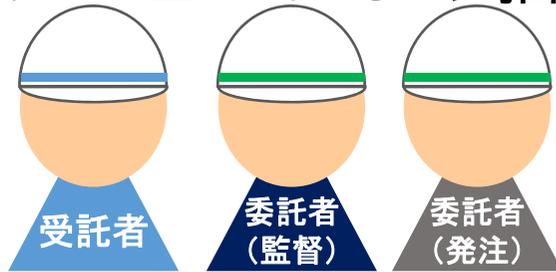
状態把握の着実な実施を前提に

ブラッシュアップした包括委託としたい

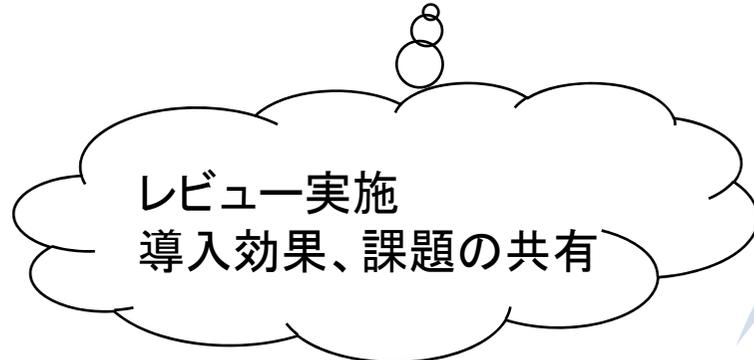
次期包括委託に向けたレビューの実施

- ◆ ブラッシュアップした包括委託を目指し
受託者、委託者（監督部署、発注部署）で
レビューを実施

- ◆ レビューにより抽出した導入効果および



現包括委託の課題の共有



課題を改善し
より効果の高い包括委託へ 5

今期包括委託のレビュー（導入効果）

- 複数業務のパッケージ化により確実に迅速な対応が取られている
- これまでより契約期間が長期であるため、民間企業の自由なアイデアで業務を履行でき、企業の成長が促されている
- 条件が異なる対象が多く、創意工夫をしながら業務の改善ができている
- 人的・物的資源の確保が計画的に実施できるため、業務量の変動を抑制し、社員の業務負荷低減につながった

今期包括委託のレビュー（課題）

◆次ページ以降のスライド説明（例）

課題	種別	改善案および方向性
レビューにより抽出された課題を記載	課題の改善に当てはまる種別を記載 (内容・提案)	課題に対する改善案もしくは方向性を記載（次回以降の審議内容に関する内容は方向性を記載） 記載例 ○○とする（改善案） 等もしくは ○○を検討（方向性）
○○○	内容	○○とする
△△△	内容	△△する ※審議項目2対象

内容のうち今回の審議内容に関するものは網掛け表記し、
審議項目2で詳細をご説明します

今期包括委託のレビュー（共通）

課題	種別	改善案および方向性
業務毎および年度毎に上限額を設定しているため、緊急業務が想定より少ない場合の融通がきかない	内容	年度毎の上限額のみ設定する
現場立会の際に監督と予定の調整が必要	提案	技術提案への反映を検討
提案内容に対する実施計画が策定できていないため提案に関するフォローアップができていない	提案	技術提案への反映を検討

今期包括委託のレビュー（調査）

課題	種別	改善案および方向性
調査不可能路線に対して新技術の活用を期待していたが、既存の技術で概ね調査が実施できている	内容	新技術の積極的な活用を促すため調査技術に関する提案対象を全路線に拡大する ※審議項目2対象
特に重要な施設の状態監視ができていない（比較的新しい貯留施設など）	内容	貯留施設に関しては経過年に関係なく調査を対象とする ※審議項目2対象

今期包括委託のレビュー（清掃、修繕）

課題	種別	改善案および方向性
清掃が必要となる堆積量が明確でない	内容	実績を基に要清掃に関する基準を設定する
流水面下の土砂堆積量が不明確	提案	技術提案への反映を検討
潮位の影響を受ける箇所での作業時間が限られる	提案	技術提案への反映を検討
流量が多い箇所での修繕に伴う水替えが困難	提案	技術提案への反映を検討

今期包括委託のレビュー（統マネ）

課題	種別	改善案および方向性
JV担当者の業務過多により調整が円滑に行われていないことがある	内容	統括マネジメント業務の内容のうち、現場管理に特化した内容を専属的に実施できる委託内容とする ※審議項目2対象
業務責任者ではなく、統括マネジメント業務の主任技術者が包括委託のマネジメントをしている	内容	統括マネジメント業務の主任技術者を専任とし、マネジメント業務に集中してもらう（業務責任者の兼務は可とする）

審議項目2

次期包括的民間委託のスキーム案について

次期包括委託のスキーム案

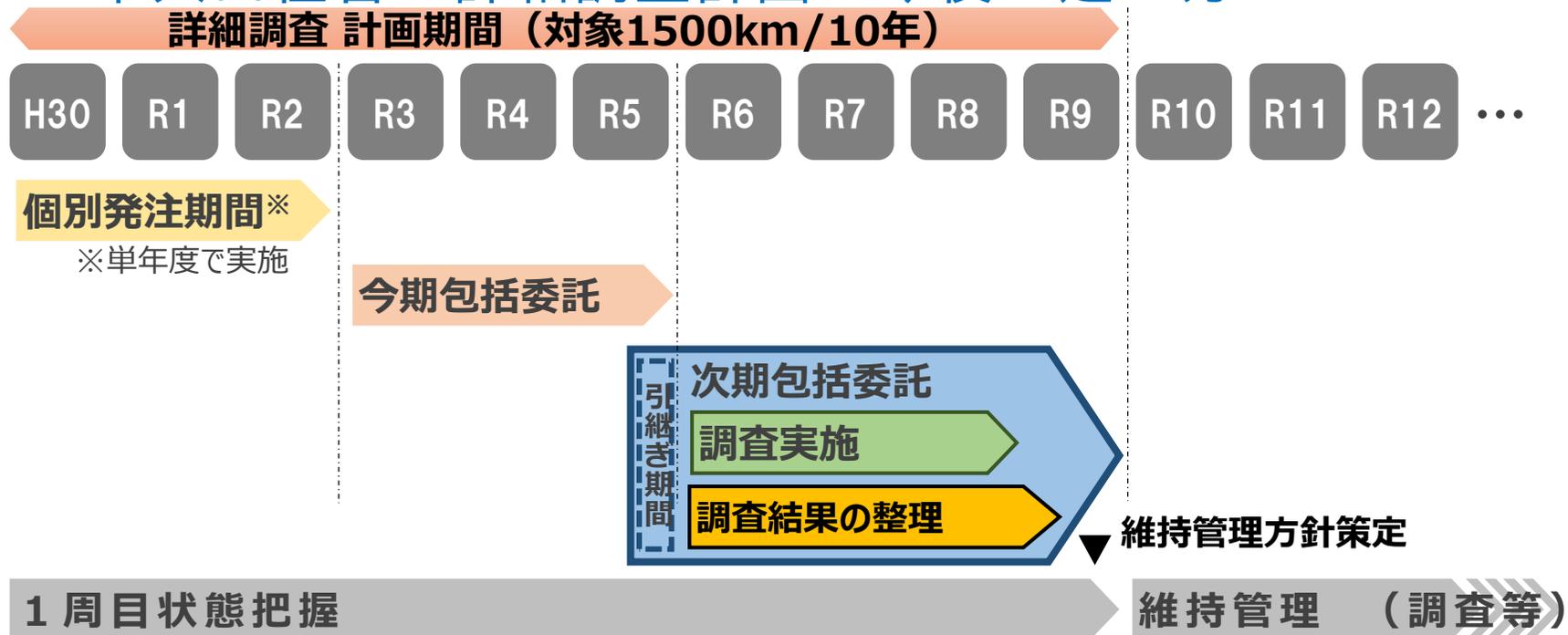
○次期包括委託のコンセプト

- ① 現在の詳細調査計画（H30～R9）の完了に向け、中大口径管の状態把握を着実に実施します。
- ② 次期包括において実施した中大口径管の調査結果を整理し、今後の維持管理方針策定につなげます。
- ③ 包括委託における受託者の裁量を拡大し、自由度の高い包括委託を目指します。
- ④ 現包括委託におけるレビュー（振り返り）を踏まえ、一部業務内容の見直しや再構成を行います。
- ⑤ 調査が順調に実施できていることや、管内の土砂堆積の状況を踏まえ対象施設を拡大します。

次期包括委託のスキーム案

○コンセプト①②

中大口径管の詳細調査計画と今後の進め方



調査を早期に完了させ、調査結果を踏まえた今後の中大口径管の維持管理方針検討を進めます。

次期包括委託のスキーム案

○コンセプト③

自由度の高い包括（詳細調査業務の見直し）

- ▶公募時点では詳細調査困難路線の解消を目的とする新技術の活用を想定していたが、既存の技術・手法で概ね調査が実施できている。



- ◆ここ数年で様々な調査技術が確立してきている中で、既存の技術を中心とした詳細調査にとらわれず、新しい調査技術を積極的に活用をして行きたい。
- ◆今後の中大口径管の効率的な維持管理の実現を目指し、新技術を用いた調査を促す。

次期包括委託のスキーム案

○コンセプト③

自由度の高い包括（詳細調査業務の見直し）

現在の包括委託（調査業務）

契約内容

◆調査手法

- ・潜行目視・TVカメラが基本
- ・調査不可能路線
について新技術を活用



◆調査結果

- ・緊急度判定
- ・記録表の提出
- ・調査映像等の提出



次期包括委託（調査業務）

調査手法は仕様で限定しない



調査結果の提出までの
プロセスは問わない



民間独自の調査手法の
採用促進が期待できる



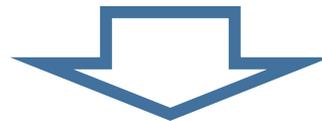
次期包括委託のスキーム案

○コンセプト④

現在の統括マネジメント業務の内容と

次期包括における業務構成案

- 包括委託の主眼としている、布設後30年以上経過した管路の状態把握は順調に進捗。
- さらにスピードアップを図り、詳細調査の早期完了を目指す



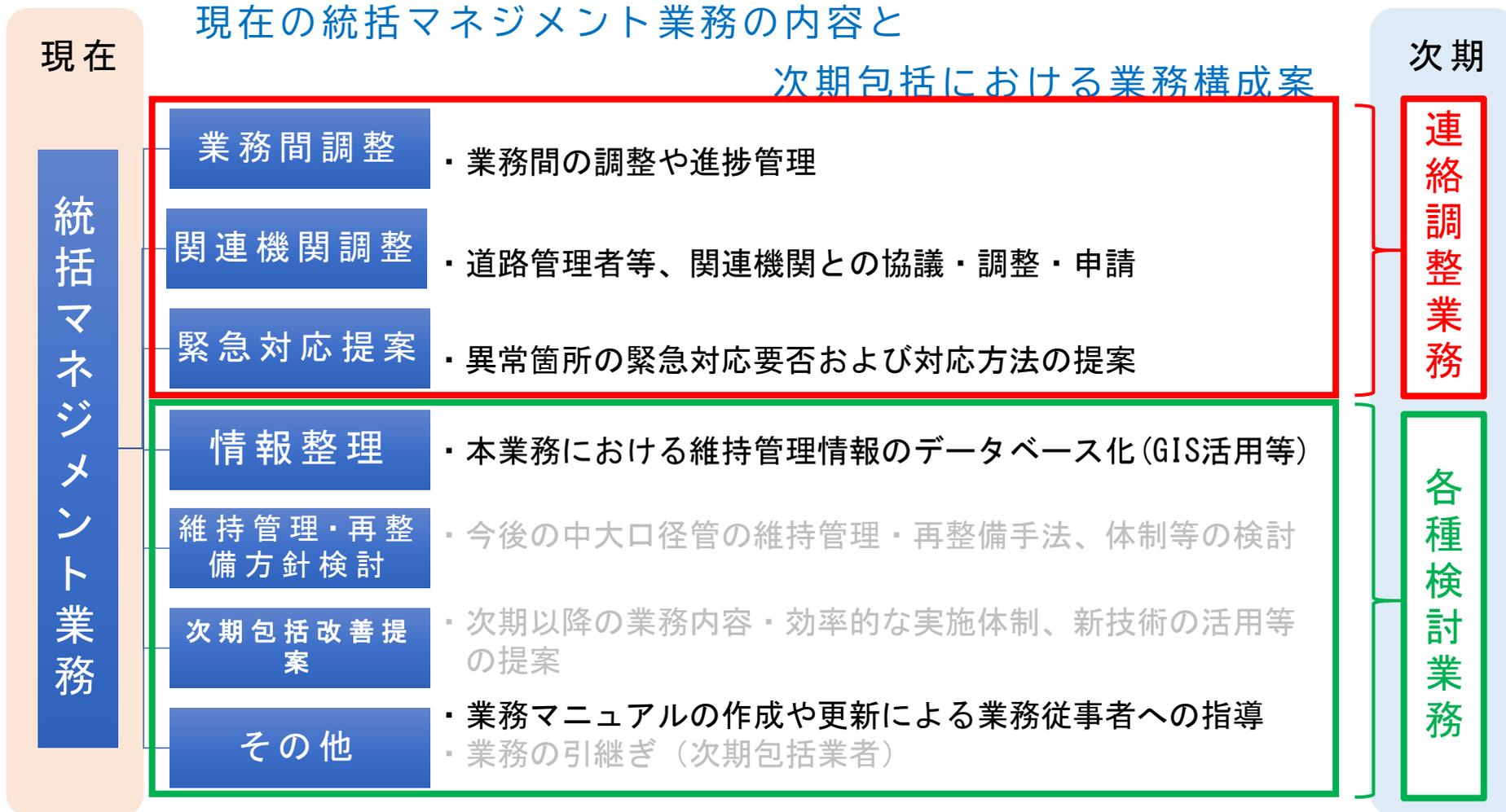
- ◆ 統括マネジメント業務に中長期的検討と現場の作業方針を含めていたが 着実な維持管理業務の履行を図るため現場の作業に注力できる業務内容にしたい

次期包括委託のスキーム案

○コンセプト④

現在の統括マネジメント業務の内容と

次期包括における業務構成案



※現在の契約に含めている方針検討に関しては別途検討する

※その他の項目に関しては不要なものを削除する

次期包括委託のスキーム案

○コンセプト⑤対象施設の拡大

- ▶ 包括委託の主眼としている、布設後30年以上経過した管路の状態把握は順調に進捗。
- ▶ 布設年数に関係なく状態把握が必要となる施設もあることが、昨今の自然災害により明らかとなった



- ◆ 激甚化する豪雨に対する施設の機能維持を目的とした内容の追加。

次期包括委託のスキーム案

○コンセプト⑤ 対象施設の拡大

雨水調整池・雨水貯留管



調整池	10箇所
貯留管	約40km
吐口	約600箇所(全数)



激甚化する豪雨に対し、求められた施設の機能を十分に発揮するため、雨水貯留施設と吐口を対象施設に加えます。

次期包括委託のスキーム案

項目	次期包括委託	【参考】今期包括委託
委託期間	4年	3年
履行場所	市内全域	市内全域(2件)
対象業務	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査業務(600km分) ➤ 清掃業務 ➤ 修繕業務 ➤ 連絡調整業務(旧統マネ) ➤ 各種検討業務(旧統マネ) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査業務(450km分) ➤ 清掃業務 ➤ 修繕業務 ➤ 統括・マネジメント
対象施設	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中大口径本管 (H29年度時点で30年以上経過したものが対象) ➤ 接続人孔及び接続取付管 ➤ 貯留施設・上記に付随する吐口の点検 <p>※貯留施設は布設後30年未満の施設も対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中大口径本管 (H29年度時点で30年以上経過したものが対象) ➤ 接続人孔及び接続取付管
受託者選定方法	公募型プロポーザル方式	公募型プロポーザル方式